

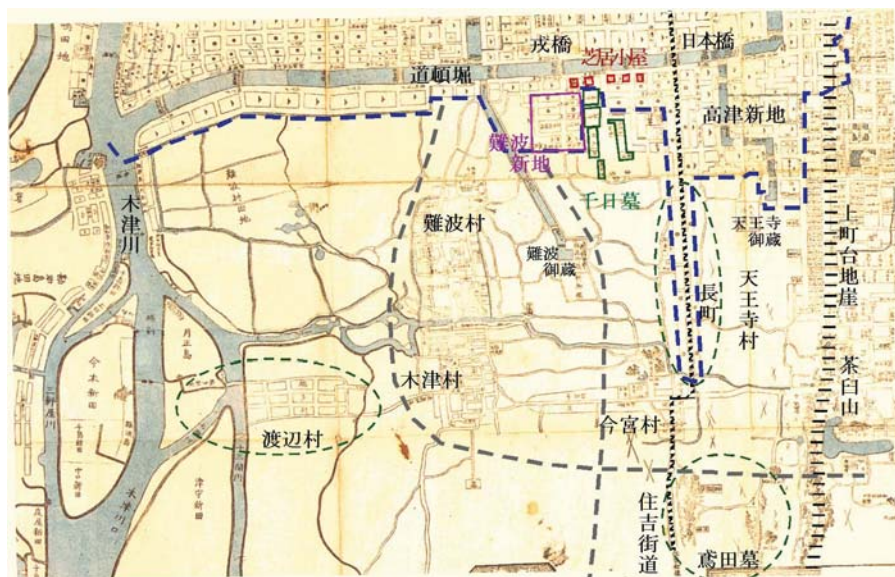
地図や写真でみる西成区北部

大阪市立大学・都市研究プラザ
文学研究科・地理学
水内俊雄

mizuuchi@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

URP
Osaka City University | Urban Research Plaza
大阪市立大学 | 都市研究プラザ

1



文化3年(1806年)刊行「増修改正摂州大阪絵図全」
大阪人権博物館 特別展示図録『絵図に描かれた被差別民』2001年所収図に加筆

図4 19世紀初頭の大坂南部

3



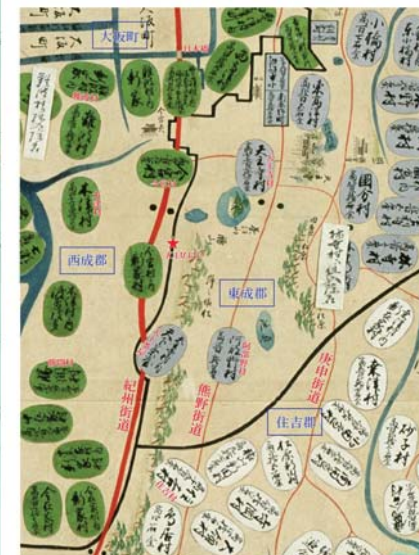
帝国陸地測量部1886年測図2万分の1地形図「大阪」「尼崎」「天王寺」
ただし、「天王寺村」の図幅は1898年修正(鉄道補入)

図9 1880年代後半の大坂南部

4



天保国絵図(1835年~1938年) 摂津国より



天保国絵図(1835年~1938年) 摂津国より

2



天下茶屋
せさい

7



今宮町
関西線と阪伊線の十字交点

5



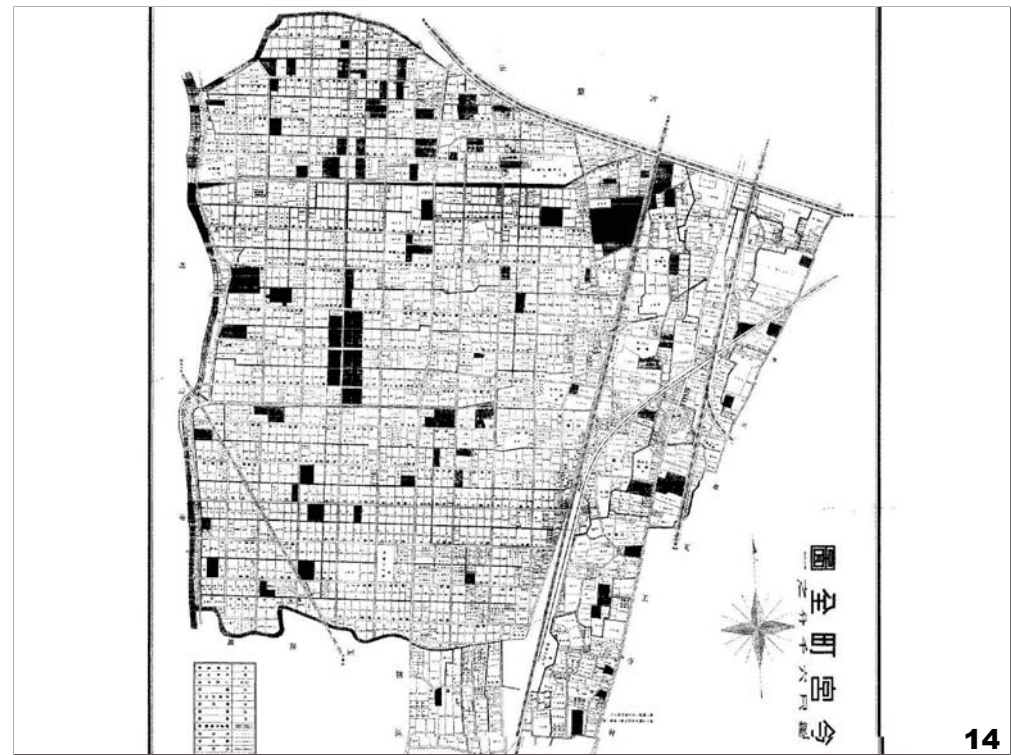
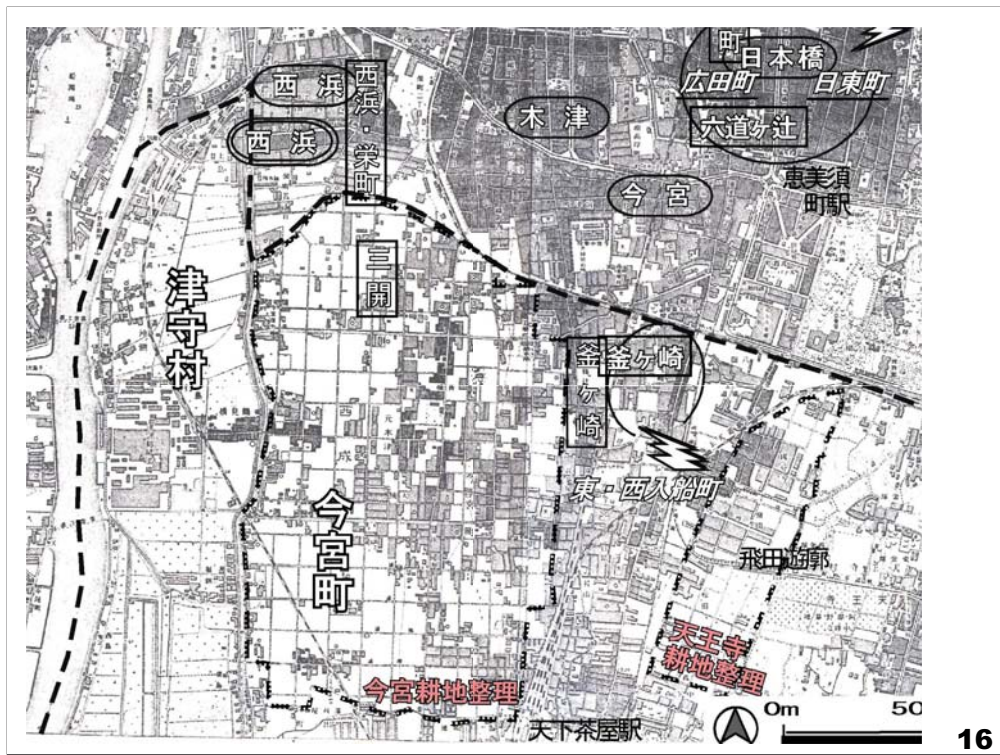
8



6



----- 1897年の第一次大阪府編入までの市町村界 ----- 1897年以降の市町村界
帝国測地院測量部2万分の1「大阪西南部」1909年測図、「大阪東南部」1908年測図に加筆
図13 1910年代はじめ、明治末期の大阪南部





今町鶴見橋公設市場



大果



今町鶴見橋



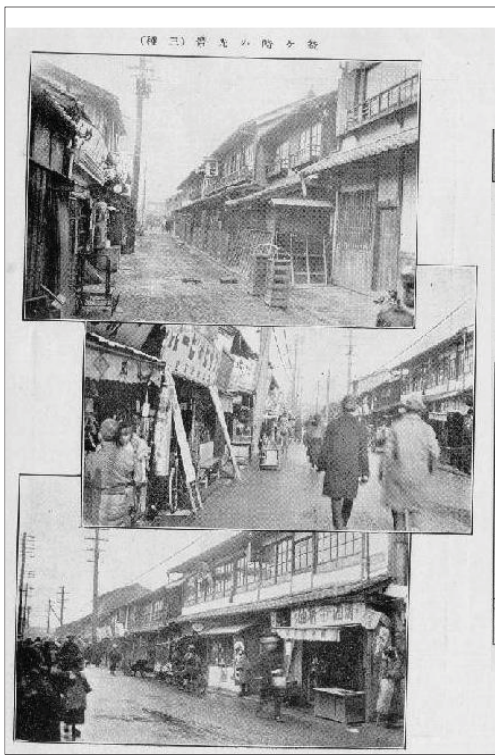
今町鶴見橋



今町鶴見橋



今町鶴見橋



今町鶴見橋



今町鶴見橋



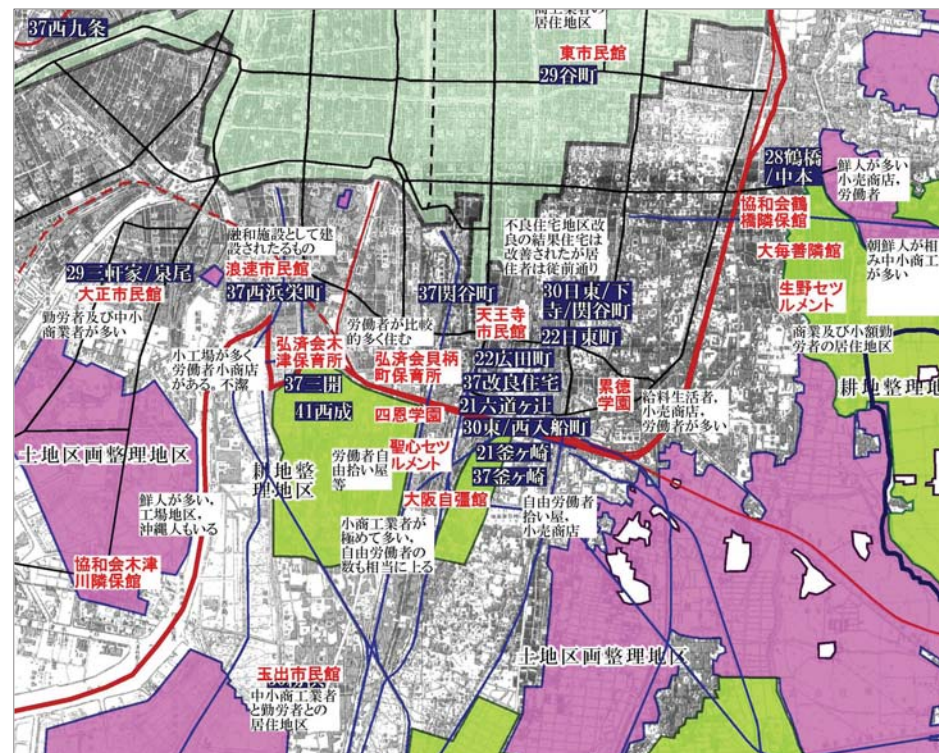
今町鶴見橋



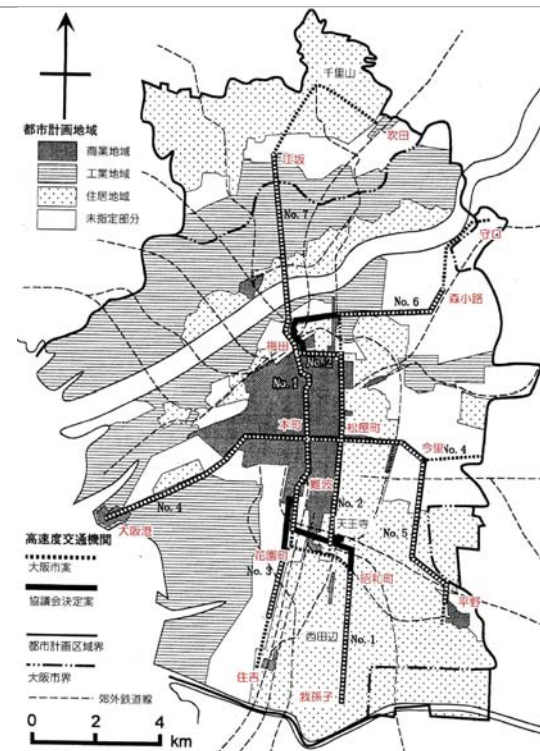
23



24



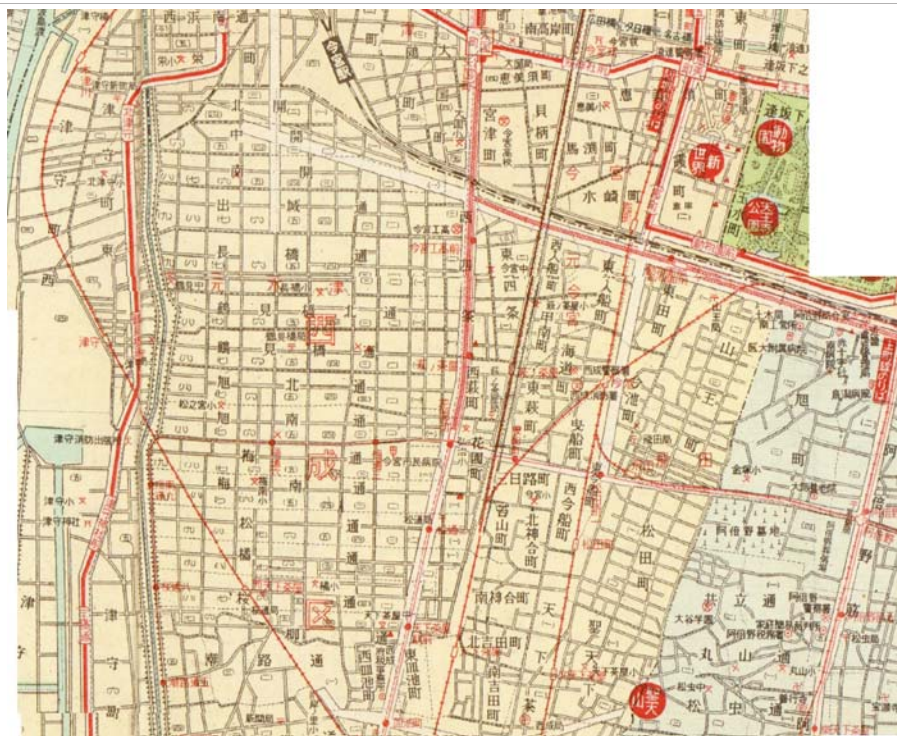
21



22



25

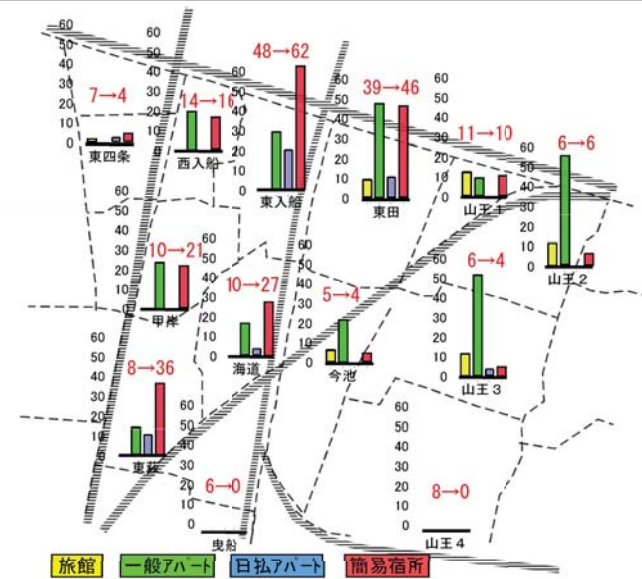
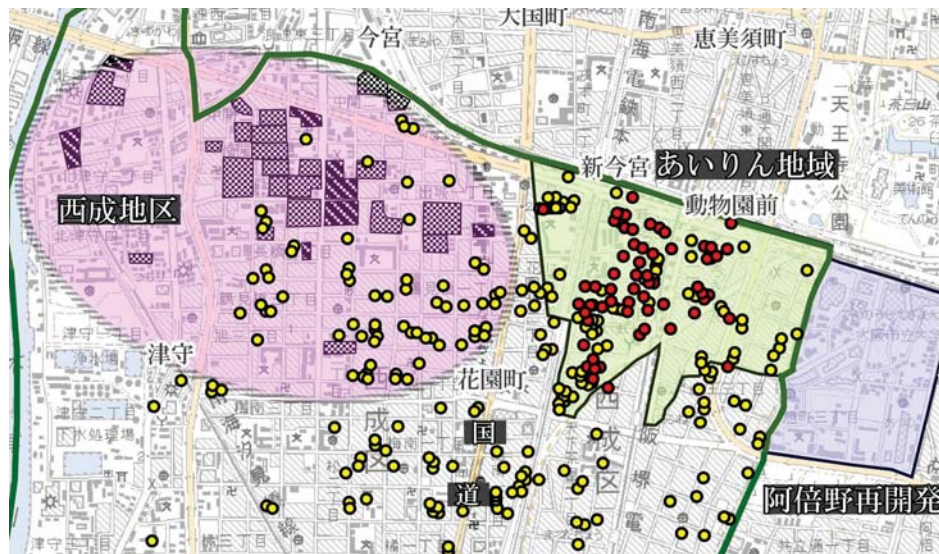


28



26

図1 萩之茶屋小学校区と旧町名



棒グラフは、各町における左から、旅館、一般アパート、日払アパート、簡易宿所の数を高さで表している。出典は西成警察署『あいらん地区内各種業者名簿』1968年4月現在、より作成。

また棒グラフ上の数字は、左側が当該町の1960年4月現在の簡易宿所数で、右側は上述の資料による1968年4月現在の簡易宿所数である。前者の数字の出典は、大阪社会学研究会「特集 金ヶ崎実態調査報告」ソシオロジ8-3、1961年、大橋薫担当の7頁の表によっている。

図 1960年代における釜ヶ崎および近辺の各町別簡易宿所数などの分布

- ・ 今宮第一尋常小学校→弘治小学校 1898年
(今宮尋常小学校→恵美小学校 1873年)
- ・ 今宮第二尋常小学校→長橋小学校 1915年
- ・ 今宮第三尋常小学校→萩之茶屋小学校 1917年
- ・ 今宮第四尋常小学校→今宮小学校 1921年
- ・ 今宮第五尋常小学校→橘小学校 1922年
- ・ 今宮第六尋常小学校→松ノ宮小学校 1927年
- ・ 今宮第七尋常小学校→(開小学校 1930年)
- ・ 梅南尋常小学校 1938年

花園町付近のアパート住民の系譜

- ・単身者(特に男性)、日本中あらゆるところから来ている
- ・故郷を捨ててきている人が多(かけごと、女性問題など)
- ・大半水商売(男女、ミナミ)、日雇い、ヤクザ、バンドマン
- ・(水商売:S47.05.30の千日前キャバレー火事事件当時のアパート住民8割がここで水商売していた)
- ・(鶴見橋、玉出、岸里周辺は水商売の方が住まわれていた)
- ・→水商売:出世するとミナミや阿倍野へ
- ・(現在):土木建設に勤める 3人:労働
- ・そのほか:福祉
- ・←S氏の紹介により、ここ1・2年は30・40代の居住者
- ・(山王や弘治にも昔から労働者が生活している)

33

- ・ロコミで入居する人多
- ・施設から入居にいたる人は、ここにはいない
- ・もともと労働者として居住していた人は、生保受給者になったとたん、設備のよいアパートやマンションに転居される。
- ・短齡→50代で亡くなる(怪我よりも肝臓病で55歳くらいで亡くなる。現在の居住者はお酒飲まない人)
- ・(気づいたときにはなくなっていた人:5、6名いる)
- ・転居無
- ・夜逃げ:現在までで10件
- ・女性はまともな人が多い(九州・四国出身)
- ・←貯金もしてお金もあるが、ここが好きだといって長年生活をしている
- ・←年金生活
- ・←冠婚葬祭のときにだけ帰郷する／帰る場所はある

34